

[招待作品部門]

映画の想像力が炸裂する

「SF・怪奇映画特集」

現実をちょっと越えてみると、作家たちは、自らの想像力を爆発させることができる。自由な発想が形になってゆく喜び、比喩の中にこっそり潜ませた皮肉、観る者／時代によって様々に変化する解釈。SFそして怪奇映画の魅力を再確認！

京都 ※京都の上映時間は、12月にHPにて発表予定です。

『エアリータ』Аэлита 監督・脚本:ヤコフ・プロタザノフ

1924年/35mm/モノクロ/無声/84分/ノ連 京都 ▶2015/1/4[日] ※



火星で爆発する愛と革命とアヴァンギャルド技師ローンは、浮気を疑い妻を殺してしまう。建設中の宇宙船で火星へ逃げたローンは、憧れの火星の女王エアリータと恋に落ちるが、同行した赤軍兵士が火星に革命を起こす。ロシア・アヴァンギャルド美術による火星のイメージは「メトロポリス」の先駆をなす。

『宇宙飛行』Космический рейс 監督:ワシリー・ジュラヴリョフ

1935年/35mm/モノクロ/70分/ノ連 京都 ▶2015/1/5[月] ※



科学考証をもとに宇宙旅行を描く先駆的作品初の月世界旅行をめざす教授が、慎重派の教授の反対を押し切って有人宇宙飛行を実現。月までの往復を果たす。現代的ロケット工学の理論を最初につくった科学者ツィオルコフスキーが監修し、本人も所長役で登場する。科学考証を踏まえたノ連初の本格SF映画。

『火を噴く惑星』Планета буй 監督・脚本:ハーヴェル・クルシャンツェフ

1961年/35mm/カラー/83分/ノ連 神戸 ▶12/20[土]11:00~ 京都 ▶2015/1/6[火] ※



「スター・ウォーズ」を生んだ宇宙冒険映画当時まだ謎に包まれていた金星。そこへ派遣された国際調査隊は、宇宙船の爆発や国の対立などさまざまな障害を乗り越え、調査を進める。金星の未知の生物やロボットの世界など見どころ満載で、ルーカスをはじめハリウッドの映画人にも多大な影響を与えた。

『妖婆、死棺の呪い』Вий 監督:コンスタンチン・エルショフ、ゲオルギー・クロパチェフ

1967年/35mm/カラー/73分/ノ連 神戸 ▶12/22[月]17:00~ 京都 ▶2015/1/3[土] ※



棺桶が空を飛び、妖怪がわき出すホラー怪作夏休みを迎えたウクライナ。神学生ホマーは故郷へ帰る道すがら、魔女と対決して撃退する。ある村で、死んだ若い娘への祈りを願われ、教会で三日三晩過ごすことになるが、そこに妖怪たちが押し寄せ、ノ連の田谷英二・A・ブトゥンコが監修した特撮映画。

『惑星ソラリス』Солярис 監督・脚本:アンドレイ・タルコフスキー

1972年/35mm/カラー/165分/ノ連 神戸 ▶12/20[土]15:45~



実体化するトラウマから甦る封印された記憶ソラリス星系の惑星探査で宇宙基地に派遣されたクリス。そこに死んだはずの妻が現れる。実体化するトラウマに基地は混乱し、クリスもまた意識の底に封印した自分自身の記憶と対峙する。異質な知性とのコンタクトを描くポーランドの作家レムの代表作の映画化。

『エバンス博士の沈黙』Молчание доктора Ивенса 監督・脚本:ブジミール・メタリニコフ

1973年/35mm/カラー/90分/ノ連 京都 ▶2015/1/7[木] ※



KGBに追われる異星人と科学者のロマンス事故に遭った飛行機の乗客が、異星人に救出される。ところが、宇宙船が軍隊の攻撃を受け、異星人は救出した地球人の記憶を消して地球へ戻す。ひとりだけ記憶の残るエバンス博士のもとを異星人の女性が訪れ、KGBとの追跡劇が始まる。

『ストーカー』Сталкер 監督:アンドレイ・タルコフスキー

1979年/35mm/カラー/160分/ノ連 神戸 ▶12/22[月]11:30~



欲望、願い、望み……人間の心の闇と希望立入禁止の「ゾーン」は奇妙な質に満ちているが、その中心にある部屋に行けば、本当の望みがかなうという。案内人ストーカーに導かれゾーンに不法侵入した二人の男は、自分の本当の望みとは何かを考えはじめ、ストルガツキー兄弟の原作を独自の解釈で映画化。

『不思議惑星 キン・ザ・ザ』Кин-дза-дза! 監督・脚本:ゲオルギー・ダヌリヤ

1986年/35mm/カラー/135分/ノ連 京都 ▶12/13[土]18:40~ 神戸 ▶12/20[土]13:00~



ソビエト不条理SFコメディの金字塔ソ連に暮らす中年男と学生が、街なかで会ったホームレス風の男の持つ装置でキン・ザ・ザ星系の惑星ブルクに瞬間移動させられる。地球とは言葉も習慣も価値観も違う世界で二人は珍道中を繰り広げ、やがて階級社会の不条理に気づく。カルト的人気を誇る怪作。

『死者からの手紙』Письма мёртвого человека 監督・脚本:コンスタンチン・ロプジャンスキー

1986年/35mm/カラー/88分/ノ連 京都 ▶2015/1/9[金] ※



“核の冬”が訪れた世界の日常を描く問題作想定外のミスから起きた核戦争で“核の冬”が訪れた世界。核シェルターに入らず博物館の地下に逃げ込み、緩慢な死を迎えつつある人々の日常を描き、生きる意味を問いつける。監督は「ストーカー」で助監督を務め、放射能に満ちた世界を描く映画を多く作った。

『THX 1138』(15分版) Electronic Labyrinth: THX 1138 4EB 監督・脚本:ジョージ・ルーカス

1967年/16mm/カラー/15分/アメリカ 神戸 ▶12/22[月]14:45~ 『ダーク・スター』と併映



ジョージ・ルーカスの原点、幻のデビュー作25世紀、人類は地下シェルターでコンピューターに支配され、番号で管理されている。THX-1138は、ルームメイトの女性とともに精神安定剤の服用をやめ、二人は愛し合う。コンピューターは二人を逮捕し引き離すが…。ルーカス監督の原点を示す幻のデビュー作。

『ダーク・スター』Dark Star 監督・脚本:ジョン・カーベンター

1974年/35mm/カラー/83分/アメリカ 神戸 ▶12/22[月]14:45~ 京都 ▶2015/1/8[木] ※



宇宙でサーフィン？ 噂のSFカルト映画21世紀半ば、探査船ダーク・スター号は、新天地を求めて遠い宇宙の彼方まで飛んでいた。ある日、流星群への突入で船内の爆弾が故障してしまう…低予算ながら随所に込められた秀逸なアイデアと変わらぬ作家性に驚嘆する、奇オジョン・カーベンター長編デビュー作。

Time Table

監督の来場予定およびゲスト来場の追加情報は随時HPで発表します。

…ゲスト来場予定 ほほ毎回開始時間が変わります。ご注意ください! 第36回 PFF 検索

京都 KYOTO 京都シネマ ※開場は開演時間の15分前を予定 京都市下京区四条烏丸下ル西側 COCON烏丸3F TEL:075-353-4723

12.13 [土]	12:00~ 「ネオ桃太郎」 [沖繩/大和] PFF Award A	16:20~ 「反駁」[多摩丘陵の熊] 「ナイアガラ」 PFF Award B	18:40~ SF・怪奇映画特集 「不思議惑星 キン・ザ・ザ」 PFF Award
14 [日]	12:00~ 「ひこうき雲」 「暁の石」[埋み火] PFF Award C	16:20~ 「還るばしょ」 「独裁者、古賀。」 PFF Award D	18:40~ 「乱波」G 「丸」G PFF Award E
15 [月]	12:00~ 「Super Tandem」 「ガンバレとかうるせえ」 PFF Award F	16:20~ 「流れる」[怪獣の日] 「人に非ず」 PFF Award G	18:40~ 「波伝谷に生きる人びと」G 「小さな庭園」G PFF Award H
16 [火]	12:00~ 「彼は月へ行った」 「モーターズ」 PFF Award I	16:20~ 「乱波」 PFF Award E	18:40~ ようこそソワンプイス体験へ!
17 [水]	12:00~ 「ネオ桃太郎」 [沖繩/大和] PFF Award A	16:20~ 「還るばしょ」 「独裁者、古賀。」 PFF Award D	18:40~ 「Super Tandem」 「ガンバレとかうるせえ」 PFF Award F
18 [木]	12:00~ 「反駁」[多摩丘陵の熊] 「ナイアガラ」 PFF Award B	16:20~ 「流れる」[怪獣の日] 「人に非ず」 PFF Award G	18:40~ 「波伝谷に生きる人びと」G 「小さな庭園」 PFF Award H
19 [金]	12:00~ 「ひこうき雲」 「暁の石」[埋み火] PFF Award C	16:20~ 「彼は月へ行った」 「モーターズ」 PFF Award I	PFF Award 2012 & 2013 「夜とケイゴカ」G 「くじらのまち」G グランプリ作品 特別上映

京都開催は、2015年も続きます! 1月の上映時間は、12月にHPにて発表予定です。

1.3 [土]	SF・怪奇映画特集 「妖婆、死棺の呪い」	7 [水]	SF・怪奇映画特集 「エバンス博士の沈黙」
4 [日]	SF・怪奇映画特集 「エアリータ」	8 [木]	SF・怪奇映画特集 「ダーク・スター」
5 [月]	SF・怪奇映画特集 「宇宙飛行」	9 [金]	SF・怪奇映画特集 「死者からの手紙」
6 [火]	SF・怪奇映画特集 「火を噴く惑星」		

名古屋 NAGOYA

愛知芸術文化センター 12階・アートスペースA ※開場は開演時間の10分前を予定 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 TEL:075-353-4723

12.18 [木]	【お問い合わせ】PFF事務局 03-5774-5296 (平日11:00~18:00) 来場ゲストなどの最新情報は随時アップしますのでご期待ください。作品や監督の詳細は公式ホームページで!			18:30~ 「乱波」G 「丸」 PFF Award E
19 [金]	PiaFilmFestival @pff_award			16:00~ ようこそソワンプイス体験へ!
20 [土]	10:30~ 「波伝谷に生きる人びと」G 「小さな庭園」 PFF Award H	13:30~ 「ひこうき雲」 「暁の石」[埋み火] PFF Award C	16:00~ 「流れる」[怪獣の日] 「人に非ず」G PFF Award G	18:30~ 「還るばしょ」G 「独裁者、古賀。」 PFF Award D
21 [日]	11:00~ 「反駁」[多摩丘陵の熊] 「ナイアガラ」 PFF Award B	13:30~ 「ネオ桃太郎」G [沖繩/大和] PFF Award A	16:00~ 「Super Tandem」 「ガンバレとかうるせえ」 PFF Award F	18:30~ 「彼は月へ行った」 「モーターズ」 PFF Award I

神戸 KOBE

神戸アートビレッジセンター ※開場は開演時間の10分前を予定 兵庫県神戸市兵庫区新開地5-3-14 TEL:078-512-5500

12.20 [土]	11:00~ SF・怪奇映画特集 「火を噴く惑星」 PFF Award	13:00~ SF・怪奇映画特集 「不思議惑星 キン・ザ・ザ」 PFF Award	15:45~ SF・怪奇映画特集 「惑星ソラリス」 PFF Award	19:00~ 「乱波」G 「丸」 PFF Award E
21 [日]	10:30~ 「ひこうき雲」 「暁の石」[埋み火] PFF Award C	13:00~ 「彼は月へ行った」 「モーターズ」G PFF Award I	15:30~ 「流れる」[怪獣の日] 「人に非ず」G PFF Award G	18:00~ 「波伝谷に生きる人びと」G 「小さな庭園」 PFF Award H
22 [月]	11:30~ SF・怪奇映画特集 「ストーカー」 PFF Award	14:45~ SF・怪奇映画特集 「THX 1138」[ダーク・スター] PFF Award	17:00~ SF・怪奇映画特集 「妖婆、死棺の呪い」 PFF Award	19:00~ ようこそソワンプイス体験へ! G
23 [火・祝]	10:30~ 「Super Tandem」 「ガンバレとかうるせえ」 PFF Award F	13:00~ 「還るばしょ」G 「独裁者、古賀。」 PFF Award D	15:30~ 「反駁」[多摩丘陵の熊] 「ナイアガラ」 PFF Award B	18:00~ 「ネオ桃太郎」G [沖繩/大和] PFF Award A

36th PIA FILM FESTIVAL

チケット情報

	京都	名古屋	神戸
Pコード	465-871	465-873	465-875

コンペティション部門「PFFアワード2014」

PFFアワード2012 & 2013「グランプリ作品特別上映」

	前売券	当日券	当日学生券
1回券	800円	1,000円	700円
フリーパス	5,000円	6,000円	—

*フリーパスは、各会場限定30枚/カテゴリー付きです。

招待作品部門「ワンピイス体験へ!」/SF・怪奇映画特集

前売券 当日券 当日学生券

1回券	1,200円	1,500円	700円
-----	--------	--------	------

【前売券の販売について】

- ※会場での前売券販売はありません。
- チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブンイレブンの店舗で直接購入 ※開演の前日まで可能です。発券手数料およびシステム使用料として、108円/枚がかかります。
- インターネットにて購入 <http://pia.jp/t/pff/> チケットぴあ
- ※開演の前日まで可能です。発券手数料およびシステム使用料として、324円/枚がかかります。
- 電話予約にて購入 チケットぴあ音声認識予約:0570-02-9999
- ※開演の4日前まで可能です。発券手数料およびシステム使用料として、324円/枚がかかります。

【当日券の販売について】

- 当日券は会場窓口で販売します。
- 当日学生券の購入時は、学生証の提示が必要です。

京都 京都シネマと 神戸 神戸アートビレッジセンターでは

会場窓口で当日券の会員割引があります。



日本映画のニューウェーブからタルコフスキーまで。映画祭ですから!

第36回ぴあフィルムフェスティバル

2014/12/13[土]-12/19[金]
2015/01/03[土]-01/09[金]

京都 2014/12/18[木]-12/21[日]
愛知芸術文化センター 12階・アートスペースA

名古屋 2014/12/20[土]-12/23[火・祝]
神戸アートビレッジセンター

【コンペティション部門】「PFFアワード2014」には、528作品の応募をいただきました。4か月の審査期間を経て厳選された21作品をお届けします。全作品をみれば、日本映画の新たな時代を感じることができるはず!

第36回 PFF 検索

PFF Award 2014

9月に東京で開催され、各賞が決定しました!

PFFアワード2014

京都 京都会場のみ2回上映です。

*監督の年齢は応募時のものです。

PFF Award A

京都 ▶12/13[土] 12:00~

▶12/17[水] 12:00~

名古屋 ▶12/21[日] 13:30~

神戸 ▶12/23[火祝] 18:00~

『ネオ桃太郎』20分/カラー

監督: 小田 学 (33歳/埼玉県出身)

ジェムストーン賞(日活賞)

各自のエゴが激突!現場は修羅場と化す…

大学の映画サークルの熱き連中が廃工場で撮影中…タイトルは「ネオ桃太郎」だ!が!監督は夢中過ぎて周りが見えてない。主演は無闇に役に入り込んでいる。

撮影監督はサークルOBで扱いづらい。現場で女口説いてる奴がいる…さまざまな撮影アルアルを乗り越えて、さあ「ネオ桃太郎」は完成できるのかー!?

PFF Award B

京都 ▶12/13[土] 16:20~

▶12/18[木] 12:00~

名古屋 ▶12/21[日] 11:00~

神戸 ▶12/23[火祝] 15:30~

『反駁』51分/カラー

監督: 伊之沙紀 (30歳/神奈川県出身)

ノストラダムスがこなかったから、私たちは…

1997年7月、ノストラダムスの預言の降臨の如く渋谷の路上に現れた通り魔。そこで遭遇した受験地獄にいた4人の小学生が最高学府で再会し、過去の忌わしき記憶

に翻弄される。人間の精神の間を希求しながらも、映画はそれを遙かに越え、逃れ得ぬ運命の領域にまで到達する。群を抜く不穏さと緊張感に満ちた異形の映画。

『多摩丘陵の熊』32分/カラー

監督: 岡 真太郎 (29歳/千葉県出身)

冬が過ぎるまで、熊はこんこんと眠る

多摩丘陵に暮らす兄弟、両親の死後、生家である団地に戻り2人きりの生活を営んでいた。兄は恋人が浮気相手と旅行中に事故死したことが原因で失声症となる。季節は冬。兄弟の回復を待つが…。高台から見晴らす風景、兄弟が興じる釣り、春の光に溶けかけた雪—それらはすべて、自然と共に自由に生き死ぬことを肯定している。

『ナイアガラ』27分/カラー

監督: 早川千絵 (37歳/東京都出身)

カンヌ国際映画祭(フランス)/バンクーバー国際映画祭(カナダ)ほか多数

大丈夫、恐れることなどなにもない

18歳になった女の子やまめは、施設を出る直前に祖父母の存在を知る。祖父は死刑囚で、祖母は認知症。という事実を、驚きも落胆もせず受け入れる彼女の前向きさに、

ます引きこまれる。祖母を介護する青年が録音する、街中の何気ない日常の音の愛おしさから、生きている有難みを実感。感動がじんわり胸に沁み込んでいく。

PFF Award C

京都 ▶12/14[日] 12:00~

▶12/19[金] 12:00~

名古屋 ▶12/20[土] 13:30~

神戸 ▶12/21[日] 10:30~

『ひこうき雲』25分/カラー

監督: 柴口 勲 (46歳/福岡県出身)

演じることで、学校が、別の世界にかわっていく

とある中学校の教室で、ビリビリに破かれる修学旅行の予定表。破って捨てたのは一体誰…? そのとき、ひとすじのひこうき雲が空を横切る。見上げているのは、羽化

を待つ少女ふたた。昔、いずれ遠くへと羽ばたいてゆくものとき、小石との存在をいま破らないとしている彼女らの目は、どんなときも、前を見つめている。

『暁の石』30分/カラー

監督: 清原 惟・飛田みちる (21歳/東京都・茨城県出身)

少女たちは微熱のような夏とたわむれる

母が失踪して三ヶ月の佳子は、大量の魚の死体が浮かぶ不気味な沼で幼馴染みの光子と再会し、昔のように、沼、図書館「神殿」と呼ぶ廃屋などで無為の戯れに興じる。

映画はその少女たちの戯れを通じて、生活の何処にも属さない、あてどなき時間そのものを鮮やかに浮かび上げられ、戯れる少女たちの姿はただひたすらに眩しい。

『埋み火』32分/カラー

監督: 山内季子 (24歳/青森県出身)

審査員特別賞

あなたに再会した日から、私が静かに発火する

田舎町のスーパーで魚をおろし続ける比富美は、小さなアパートで寝たがりの母親を介護中。東京から戻った大輔との再会で、心の奥深くに埋めていた希望の光に手を伸ばそうとするが…。20代半ばで介護に縛られる閉塞感を、手を洗うという行為で表現。比富美の未来に光が射すよう心を込めてエールを送りたい気持ちにさせられる。

PFF Award D

京都 ▶12/14[日] 16:20~

▶12/17[水] 16:20~

名古屋 ▶12/19[金] 18:30~

神戸 ▶12/23[火祝] 13:00~

『還るばしょ』36分/カラー

監督: 塚田万理奈 (22歳/長野県出身)

日常の中で少しずつ溜まっていく涙を、いま

歯科衛生士として働くちかげは毎日を淡々と過ごしている。女友達の家に泊まり行く彼氏を許し、付き合っている意味を問われ、姉には「ちかげってな

んか?つまんそーだよな」と言われても、それが幸せとも不幸とも感じていなかった。そんな日常が少しずつ、ちかげ自身を受け入れさせなくなっていく…。

PFF Award E

京都 ▶12/14[日] 18:40~

▶12/16[火] 16:20~

名古屋 ▶12/18[木] 18:30~

神戸 ▶12/20[土] 19:00~

『独裁者、古賀。』79分/カラー

監督: 飯塚俊光 (33歳/神奈川県出身)

絶対的距離感を壊すには、近づくしかない

希薄な存在感ゆえにクラスにいじめられ役である古賀。古賀をかばったために、いじめの標的となる女子生徒、副島。二人が惹かれ合う理由は、純粋な恋心か、それとも傷の舐め愛か? 愛で(たぶん)世界は変わらない。ならば自分が変わるしかない。きっかけは自己満足でいい。副島さんへの想いを証するため、古賀は変わるか!?

『丸』89分/カラー

監督: 鈴木洋平 (29歳/茨城県出身)

それは凶報が福音か? 丸はやってきた

平凡な一軒家で発生した父子心中未遂事件。父親のみが銃で自殺し、現場にいた次男・鉄男とその恋人・百合子は、その事件以来、文字通り時間が静止してしまう。

記者・出口は独自に調査を進めるうち、不条理極まりない世界へ迷い込む…。それを見るとき時間が止まり、世界が歪む。不穏な丸の正体は、観る者の解釈そのもの。

PFF Award F

京都 ▶12/15[月] 12:00~

▶12/17[水] 18:40~

名古屋 ▶12/21[日] 16:00~

神戸 ▶12/23[火祝] 10:30~

『Super Tandem』40分/カラー

監督: 小林勇貴 (23歳/静岡県出身)

若さと善意と衝動が承認欲求を求めて暴走

自警団を結成した大石と悪友萩田。万引き犯を成敗するも、待ち受けるのは暴走族の復讐劇。それでも己が信ずる方向へ! 襲いかかる映像と音楽の洪水に隠された純粋な思い。人のために、善のために動けるか。監督は地元富士宮の若者に愛を持って、時に自虐的なまでに演出し、ひねくれた自身を映画のフレームで見事描ききった。

『ガンバレとかうせえ』70分/カラー

監督: 佐藤快磨 (24歳/秋田県出身)

爽やかでも健やかでもない だから…

サッカー部のキャプテンと女子マネージャー。2人は最初から最後まで、「試合に出る」という情熱を強まず持ち続け、それを貫き通す。スボ根映画の類ではない

ので派手なドラマは起こらないが、全編に渡って若い人間の息づかいがあり、特に、2人の射貫くような視線の真っ直ぐさには幾度もはっとさせられる。

PFF Award G

京都 ▶12/15[月] 16:20~

▶12/18[木] 16:20~

名古屋 ▶12/20[土] 16:00~

神戸 ▶12/21[日] 15:30~

『流れる』13分/カラー

監督: 橋本将英 (16歳/福岡県出身)

心があれば、言葉はいらないはずだった

すぐそばを川が流れる公園で暮らす少年。彼はある時、フを排し、たったひとりの登場人物と彼の所持する石と公園と川との間の狭い空間を転々と行き来する少年。し

かし、ある時小石は忽然と消えてしまう。一切のセリフを排し、たったひとりの登場人物と彼の所持する石との不思議な関係を描く。

『怪獣の日』30分/カラー

監督: 中川和博 (27歳/奈良県出身)

映画にするとみえてくる、この国の現実

太平洋に出現した怪獣は、自衛隊と米軍による作戦でなんと活動を停止。その沈黙した未知の巨体は、やがて日本沿岸に漂着する。怪獣の処理をめぐってその町に巻き起こる議論と対立がメタファーであることは明快だ。"311"以降に生まれるべくして生まれた、最も真摯で社会派な「怪獣映画」と言えよう!

『人に非ず』65分/カラー

監督: 矢川健吾 (26歳/神奈川県出身)

審査員特別賞

これは殺戮か? それとも生態系の法則か?

小笠原諸島の父島にある観光客向けホテル・ホライズンにひとりの新人従業員がやってくる。彼は、海と山の豊かな自然に囲まれた一見のどかに見える日常生活の裏に、閉鎖的な環境からくる陰鬱な人間関係があるの垣間見る。その一方で、彼にはこの島で実行しなげればならない密かな計画があった…。

あなたが決める PFF京都&名古屋&神戸賞!

観客による投票で各会場のグランプリが決まります! 対象はA~Iプログラムの21作品です。

PFF Award H

京都 ▶12/15[月] 18:40~

▶12/18[木] 18:40~

名古屋 ▶12/20[土] 10:30~

神戸 ▶12/21[日] 18:00~

PFF Award I

京都 ▶12/16[火] 12:00~

▶12/19[金] 16:20~

名古屋 ▶12/20[土] 18:30~

神戸 ▶12/21[日] 13:00~

『彼は月へ行った』19分/カラー

監督: 藤村明世 (23歳/東京都出身)

アポロごっこがおわるとき、はじまるもの

親友・優一を亡くして他人に心を開かなくなった主人公・順は、子供時代に優一と遊んだトランシーバーでのアポロ通信ごっこを独りていつまでもやっていた。ある日、ま

た学校でこっそりトランシーバーで喋っていると、トランシーバーに謎の返信が…。女の子の声だ。とまどう順だったが、やがてその声だけの少女に心を開いてゆく…。

『モーターズ』83分/カラー

監督: 渡辺大知 (23歳/兵庫県出身)

あなたに会えて、きつよかった

田舎の整備工場で働く田中は、うだつあがらない日々を過ごしている。新入りのタケオもバンドがたくって仕事

を。そんな中、一組のカップルが車の修理にやって来た。その彼女に淡い恋心を抱く田中だったが…不器用だけ可愛い人間模様が発見の時間を充たしていく。

PFF Award 2012 & 2013

グランプリ作品 特別上映

京都 ▶12/19[金] 18:40~

『夜とケイゴカー』45分/カラー

監督: 市川悠輔

第26回東京国際映画祭/インド国際映画祭(インド)出品

身勝手な悪友の運転で幕開けする悪夢のドライブ

イッチーとケイゴは車に乗って田舎道を走る。女子の足に

一回死んでも蘇り、虚構と現実の境も壊し、イッチーとケイゴは走る走る。これぞゼン年代のロードムービー!

『くじらのまち』70分/カラー

監督: 鶴岡慧子

釜山国際映画祭2012/ベルリン国際映画祭2013/アジア映画祭(イタリア)ほか多数

仲よし高校生男女3人組のすれ違う心の揺れを瑞々しく描く

陸での生活に適応したクジラは、なぜあえて新天地を目指す。揺れる思春期の心象風景を瑞々しく描いた青春群像劇。

【招待作品部門】

ワンピース20周年記念企画

「ようこそワンピース体験へ!」

ベストセレクション+2014年播り下ろしの新作も上映予定。上映作品は、公式HPをご覧ください。

監督: 矢口史靖 (やくち・しのぶ)

京都 ▶12/16[火]18:40~ 名古屋 ▶12/19[金]16:00~ 神戸 ▶12/22[月]19:00~

監督: 鈴木卓郎 (すずき・たくじ)

1967年生まれ。【ウォーター・ボーイズ】で注目されて以降、最新作 WOOD JOB!〜神去なあるあ日常〜まで、第一線を走り続けている。【特別上映】 上映後、東京会場で行われた矢口&鈴木監督のトーク映像を特別上映。両監督から語られた、ワンピースの極意とは!?

1967年生まれ。【ゲゲゲの女房】、【実録のうさぎ】などを監督する傍ら、【OUT】(アメリカ・ナドリ監督)などで、俳優としても活躍。【特つこと眩し】